

日本弁理士会主催【知的資産経営WEEK2021 第8回知的財産活用表彰】 受賞者一覧

賞名称	部門等	受賞企業・団体名	評価のポイント
知的財産活用大賞		日本リニューアル株式会社	特許の他、意匠や商標を含めた知的財産権の戦略的な取得、保護及び活用並びに技術標準化及び営業機密管理を通して自社ライニング工法の差別化を図ることでパイオニアとして市場シェアをほぼ独占し、加えてライセンス供与も積極的に行っている。さらに事業の実施を通じて地域の活性化・振興にも貢献している。
知的財産活用奨励賞	ブランド部門	株式会社中村印刷所	自社ロゴとともに、主力製品のノートについて複数の商標権を取得し、これらをライセンス契約やブランドの認知に積極的に活用している。また、知財を事業やブランド構築に活用した効果的な情報発信を実践している。
	デザイン部門	株式会社マーナ	デザイン性の高い手のひらサイズに瞬時に折り畳むことができるバッグを開発して競争優位性を確立し、意匠権や商標権を活用して模倣品対策に力を入れている。また、海外展開も積極的に行っている。
	知的財産戦略部門	株式会社弘栄ドリームワークス	設備業に関するプラットフォーム事業において、自社製品のライセンスを行うために特許権、意匠権、商標権による知財ミックスを実行し、競争優位性の確立・維持を図っている。
		有限会社リタッグ	国内外において特許・商標を積極的に権利化した上で、国内及び海外でのライセンスをベースとする事業展開の可能性・優位性を高めることに注力し、多面的な知財活用に取り組んでいる。
特別賞		ツカサ工業株式会社	粉体処理という様々な製品に応用のきく技術分野で積極的に特許、意匠、商標を出願し知財ミックスで権利を取得している。 海外展開では一部の特許権をライセンスしつつ現地会社とパートナーシップを結び技術を管理している。
特別賞(コロナ対応貢献)		株式会社mediVR	特許権、商標権など知的財産権の取得及び権利行使を効果的に行いつつ製造販売するリハビリテーション用医療機器は、在宅での遠隔リハビリテーションに資する製品となっていて、新型コロナウイルス感染症下において医療体制構築に貢献した。